



2019年3月8日

各 位

会社名 イメージ情報開発株式会社
代表者名 代表取締役社長 代永 衛
(コード番号 3803 東証JASDAQ)
問合せ先 常務取締役経営管理室長 佐藤 将夫
(TEL 03-5217-7811)

(訂正) 「平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成28年11月9日に開示いたしました「平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2019年3月8日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月9日

上場会社名 イメージ情報開発株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3803 URL http://www.image-inf.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 代永 衛
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理室長 (氏名) 佐藤 将夫 TEL 03(5217)7811
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	470	△27.5	△22	—	△21	—	△25	—
28年3月期第2四半期	647	74.8	16	—	△75	—	△83	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △25百万円（—%） 28年3月期第2四半期 △84百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△15.43	—
28年3月期第2四半期	△50.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	727	392	53.9	235.46
28年3月期	760	418	55.0	251.01

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 392百万円 28年3月期 418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	935	△25.4	36	4.0	41	—	21	—	13.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	1,780,000株	28年3月期	1,780,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	113,629株	28年3月期	113,629株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	1,666,371株	28年3月期2Q	1,666,385株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融証券取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続きが実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記により記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。
2. 当社は、平成28年11月25日（金）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、説明会開催後速やかに当社Webサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の景況判断には慎重さが見られますが、緩やかな回復基調が続いており、企業の設備投資活動には積極的な姿勢が見受けられます。

当社グループの主要な事業領域である情報サービス業界においても、企業のIT投資は回復傾向にあり、受注量は増加していますが、一方、利益率の低迷は未だ続いております。

このような環境の中、当第2四半期連結累計期間において、開発スキルの向上を図るとともに、外部人材リソースの活用等を進めてまいりましたが、前連結会計年度に株式会社アンダースを連結除外した影響等があり、売上高は470,078千円(前年同期比27.5%減)となりました。

利益面におきましては、売上高に占める売上原価率が上昇し、営業損失は22,461千円(前年同期は営業利益16,534千円)となりました。経常損失は21,742千円(前年同期は経常損失75,382千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は25,712千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失83,768千円)となりました。

このような状況において、当社グループは当初計画の業績達成はもとより、これまで培ってまいりましたIT活用による提携企業へのコンサルティング機能をさらに高め、先進的マーケティングソリューションの提供等により新たなサービスの創造とマーケットの開拓、さらに新たな異業種企業との提携による収益創出事業の展開を図ってまいります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は385,713千円(前連結会計年度末比4,926千円減)となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が44,207千円増加しましたが、短期貸付金が35,014千円、前払費用が15,022千円減少したことによるものです。

固定資産の残高は341,597千円(前連結会計年度末比28,002千円減)となりました。これは主に、長期未収入金が18,608千円減少したことによるものです。

これにより総資産の残高は727,311千円(前連結会計年度末比32,928千円減)となりました。

流動負債の残高は194,683千円(前連結会計年度末比12,625千円減)となりました。これは主に、短期借入金が15,000千円減少したことによるものです。

固定負債の残高は140,270千円(前連結会計年度末比5,607千円増)となりました。これは主に、退職給付に係る負債が5,946千円増加したことによるものです。

これにより負債の残高は334,953千円(前連結会計年度末比7,017千円減)となりました。

純資産の残高は利益剰余金の減少25,712千円等により392,357千円(前連結会計年度末比25,910千円減)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動により29,217千円減少、投資活動により31,272千円増加、財務活動により15,000千円減少しました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の資金の残高は当期期首残高より12,944千円減少し99,793千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により、資金は29,217千円減少(前年同期は94,089千円増加)しました。仕入債務の増加17,819千円、長期未収入金の減少18,608千円等により資金が増加しましたが、売上債権の増加44,207千円、税金等調整前四半期純損失24,683千円の計上、貸倒引当金の減少14,016千円等により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により、資金は31,272千円増加(前年同期は2,586千円増加)しました。貸付金による支出98,000千円等により資金が減少しましたが、貸付金の回収による収入135,340千円等により資金が増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により、資金は15,000千円減少(前年同期は43,639千円減少)しました。これは、借入金の返済による支出15,000千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の業績予想につきましては、業績の変動は現時点では想定されておらず、平成28年5月12日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示いたしてまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	122,737	109,793
受取手形及び売掛金	<u>213,134</u>	<u>257,341</u>
商品	425	400
仕掛品	157	1,231
貯蔵品	285	279
短期貸付金	<u>38,449</u>	<u>3,435</u>
その他	15,504	14,320
貸倒引当金	<u>△55</u>	<u>△1,087</u>
流動資産合計	<u>390,639</u>	<u>385,713</u>
固定資産		
有形固定資産	30,964	27,328
無形固定資産	13,493	10,559
投資その他の資産		
投資有価証券	81,612	81,733
長期貸付金	<u>359,696</u>	<u>357,370</u>
<u>長期未収入金</u>	<u>74,936</u>	<u>56,327</u>
その他	48,399	32,732
貸倒引当金	<u>△239,503</u>	<u>△224,454</u>
投資その他の資産合計	<u>325,141</u>	<u>303,709</u>
固定資産合計	<u>369,599</u>	<u>341,597</u>
資産合計	<u>760,239</u>	<u>727,311</u>
負債の部		
流動負債		
買掛金	94,002	111,821
短期借入金	15,000	—
未払法人税等	16,321	4,570
賞与引当金	29,457	27,913
その他	52,528	50,377
流動負債合計	<u>207,308</u>	<u>194,683</u>
固定負債		
退職給付に係る負債	114,891	120,837
その他	19,770	19,432
固定負債合計	<u>134,662</u>	<u>140,270</u>
負債合計	<u>341,971</u>	<u>334,953</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	467,050	467,050
資本剰余金	519,527	519,527
利益剰余金	<u>△472,471</u>	<u>△498,183</u>
自己株式	<u>△95,810</u>	<u>△95,810</u>
株主資本合計	<u>418,295</u>	<u>392,583</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	<u>△27</u>	<u>△225</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>△27</u>	<u>△225</u>
純資産合計	<u>418,268</u>	<u>392,357</u>
負債純資産合計	<u>760,239</u>	<u>727,311</u>

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	647,985	470,078
売上原価	509,532	417,587
売上総利益	138,452	52,490
販売費及び一般管理費	<u>121,918</u>	<u>74,951</u>
営業利益又は営業損失(△)	<u>16,534</u>	<u>△22,461</u>
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,165	<u>179</u>
立退料収入	2,000	—
その他	720	579
営業外収益合計	4,886	<u>759</u>
営業外費用		
支払利息	99	40
貸倒引当金繰入額	<u>96,617</u>	—
その他	86	—
営業外費用合計	<u>96,803</u>	40
経常損失(△)	<u>△75,382</u>	<u>△21,742</u>
特別損失		
減損損失	2,401	3,549
特別損失合計	2,401	3,549
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△77,784</u>	<u>△25,292</u>
法人税、住民税及び事業税	6,727	420
法人税等合計	6,727	420
四半期純損失(△)	<u>△84,511</u>	<u>△25,712</u>
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	<u>△83,768</u>	<u>△25,712</u>
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△742	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△216	△198
その他の包括利益合計	△216	△198
四半期包括利益	<u>△84,728</u>	<u>△25,910</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△83,985</u>	<u>△25,910</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	△742	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	<u>△77,784</u>	<u>△25,292</u>
減価償却費	12,052	8,453
のれん償却額	922	—
その他の償却額	918	918
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	<u>108,523</u>	<u>△14,016</u>
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,226	△1,544
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,090	5,946
受取利息及び受取配当金	<u>△2,165</u>	<u>△179</u>
支払利息	99	40
減損損失	2,401	3,549
売上債権の増減額 (△は増加)	<u>△147,613</u>	<u>△44,207</u>
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,643	△1,042
仕入債務の増減額 (△は減少)	169,552	17,819
長期未収入金の増減額 (△は増加)	—	<u>18,608</u>
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△2,683	1,185
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	16,286	2,000
その他	<u>555</u>	<u>11,197</u>
小計	<u>90,025</u>	<u>△16,563</u>
利息及び配当金の受取額	296	786
利息の支払額	△99	△40
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	<u>3,866</u>	<u>△13,400</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>94,089</u>	<u>△29,217</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	20,000	—
有形固定資産の取得による支出	△2,021	△1,945
無形固定資産の取得による支出	△15,944	△3,487
貸付けによる支出	△4,500	△98,000
貸付金の回収による収入	5,147	135,340
その他	△95	△634
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>2,586</u>	<u>31,272</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	10,000	—
借入金の返済による支出	△63,600	△15,000
非支配株主からの払込みによる収入	10,000	—
その他	△39	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△43,639</u>	<u>△15,000</u>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	<u>53,035</u>	<u>△12,944</u>
現金及び現金同等物の期首残高	30,011	112,737
現金及び現金同等物の四半期末残高	<u>83,046</u>	<u>99,793</u>

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。